

AREA A

4REA4 固定型 I/O 拡張ユニット

A164 WALL LCD



取扱説明書

安全上のご注意

■安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、お読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

- 注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをする
と生じることが想定される内容を、次の定義のように「警告」「注意」の二つに区
分しています。

 警告	この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 必ず AC100V(50Hz/60Hz) の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり危険です。また、同梱された電源ケーブルは、他の機器に使用しないでください。
- 電源ケーブルの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。ケーブルが破損して火災や感電の原因となります。
- 確実にアース接続をしてください。また、アース線の脱着は電源を外してから行ってください。感電の原因となります。
- 濡れた手で、電源ケーブルや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常が起きたときは、ただちに電源を外し修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

注意

人が傷害を負う可能性および物的損害が発生する
可能性が想定される内容です。

- 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。
- 機器の重量に耐える強度を持った安定した場所に設置してください。また、ラックに設置する際は、前面パネルだけでなく背面パネルも固定してください。落下によるけがや故障の原因となります。
- 以下のような場所には、設置しないでください。火災や故障の原因となります。
直射日光のあたる場所 / 極度の低温又は高温の場所 / 湿気の多い場所 / ほこりの多い場所 / 振動の多い場所
- 通気性の良い場所に設置し、機器の吸気口や排気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。
- 機器の移動は、電源ケーブルや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。けがやケーブルの破損の原因となります。
- 他の機器との接続は、機器の電源を全て切ってから行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。
- スピーカーの破損を防ぐため、電源を入れるときは最初にこの機器の電源を入れてください。また、電源を切るときは一番最後に電源を切ってください。
- 出力の配線は、電源を切ってから 10 秒以上たった後で行ってください。また、出力ケーブルがシャーシや他のケーブルとショートしないよう十分注意してください。感電や故障の原因となります。
- 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。
- 落雷の恐れがあるときは、電源ケーブルを取り外してください。火災や感電、故障の原因となります。

A164 WALL LCD

A164 WALL LCD は、DiGiCo 4REA4 システム用の固定型 I/O 拡張ユニットです。16 系統のリモートコントロールマイク/ラインプリアンプと 4 系統の XLR ライン出力を装備し、1 本の CAT5 ケーブルで 4REA4 に接続できます。

カスケードモードでは、もう 1 台の A164 WALL LCD または A168 STAGE を接続できます。あるいは、互換ハードウェアとのリダンダント接続も可能です。

A164 WALL LCD は独立型として使用できるほか、フロアポケットへの取り付け、壁面への取り付けまたは壁面埋め込みも可能です。用途に応じて各種電源オプションが用意されています。

ⓘ この製品の取り付けは必ず有資格者が行ってください。

梱包内容の確認

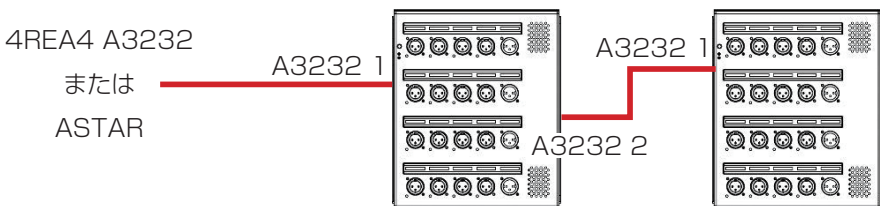
A164 WALL LCD ユニットの梱包の中に次のものが入っていることを確認してください。

- ・ オプショングランドモジュール (部品番号: 004-1097)
- ・ マウントフレーム (AA11529)
- ・ M4 T20 ねじ (AB11238) × 6 本

接続



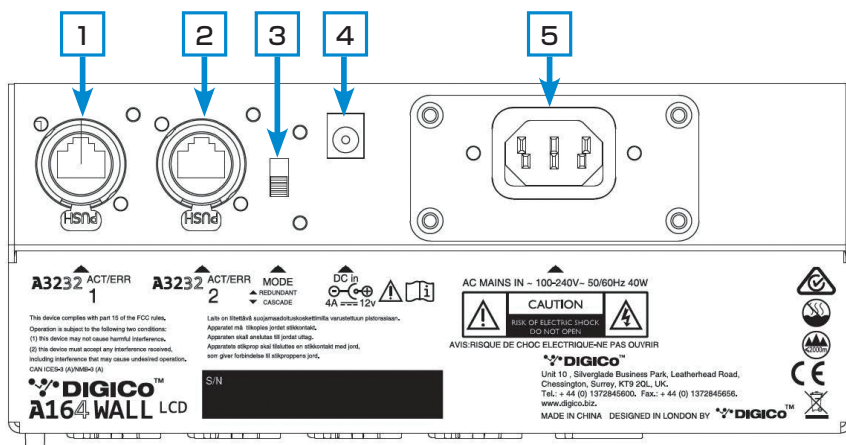
リダンダントモード — 互換ハードウェアのみ



カスケードモード

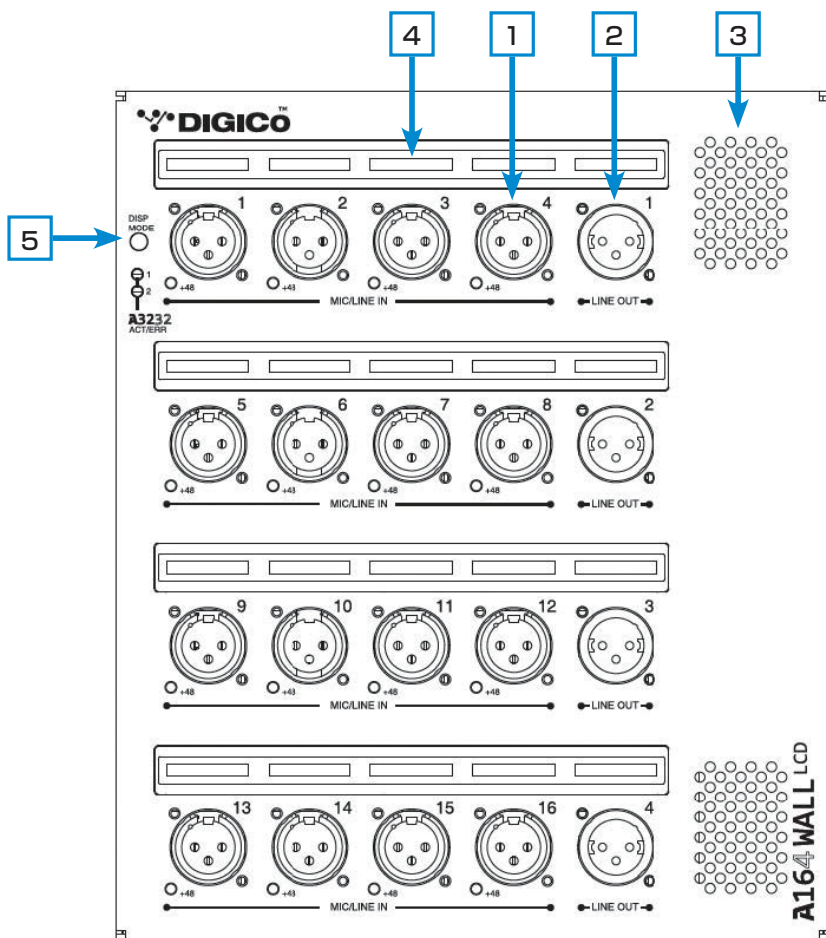
もう 1 台の A164 WALL LCD または A168 STAGE を追加

上面パネルと電源オプション



- 1 **A3232 1** : ミキシングシステムに接続するための EtherCon ポートです。音声信号に加え、プリアンプコントロールおよびシステムステータスデータも伝送します。
- 2 **A3232 2** : もう 1 台のユニットのデージーチェーン接続またはケーブルリダundant接続用の EtherCon ポートです。
- 3 **A3232 2** モードスイッチ : 2 本のケーブルで互換ハードウェア (4REA4 または 2 台の ASTAR) と接続する場合は Redundant、もう 1 台の A164 WALL LCD または A168 STAGE ユニットと接続する場合は Cascade に切り替えます。
- 4 **DC12 V 入力** : 建物内に十分な DC 配電設備がある場合、AC 電源の代わりに電源として使用できます。停電時のバックアップ電源としても使用可能です。
- 5 **電源入力** : 内蔵ユニバーサル PSU は AC 100V、50/60 Hz に対応しています。標準では IEC コネクターモジュールが装着されています。固定設置用として、ケーブルグランドに対応したノックアウト穴を備えたオプションモジュールも用意されています。

! IEC モジュールの交換および電源の配線は必ず有資格者が行ってください(後述の手順を参照)。



1 入力端子：+48 V ファンタム電源インジケータを備えたバランス XLR マイク／ライン入力です。A164 WALL LCD はプリアンプ内蔵で、ゲイン、パッド、+48 V ファンタム電源を 4rea4 から 3232 リンク経由で操作できます。

+48 V インジケータは、A164 WALL LCD または外部電源から端子に供給されている電圧を検出します。

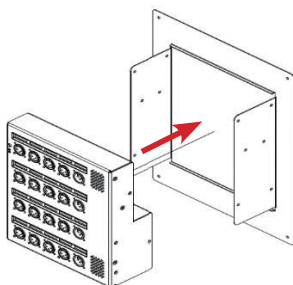
2 出力端子：公称レベルが +4 dBu のバランス XLR 出力です。

3 通気口：ユニットの背面には十分な通気を確保する必要があります。使用時に通気口を塞いではなりません。また、通気口にほこりや液体が入らないようにしてください。

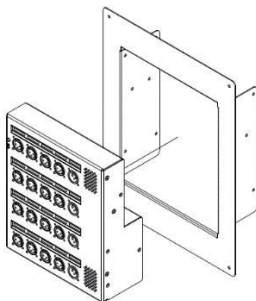
- 4 **液晶ディスプレイ**：端子名またはチャンネルアサインを表示します。デフォルト状態では消灯しています。所定の時間が経過すると自動的に消灯します。
- 5 **表示モードスイッチ**：1回押すとディスプレイが点灯し、もう一度押すと表示モードがソケット名から色別チャンネルアサインに切り替わります。それ以降は押すごとにモードが切り替わります。

設置 — 取り付け

壁面への取り付け：マウントフレーム（AA11529）を下の図の向きで使用します。壁のタイプに適した金具またはねじでフレームを壁面に固定し、A164 WALL LCDの側面にあるスレッドインサートをフレームと合わせ、付属の6本のM4 T20 ねじ（AB11238）でユニットを固定します。



壁面への埋め込み：マウントフレーム（AA11529）を下の図の向きで使用します。A164 WALL LCDの側面にあるスレッドインサートをフレームと合わせ、付属の6本のM4 T20 ねじ（AB11238）でユニットを固定します。電源ケーブルとCAT5ケーブルを接続し、壁のタイプに適した金具またはねじでアセンブリーを壁面に固定します。



NEMA ボックスへの取り付け：A164 WALL LCDは、適切なサイズの標準 NEMA タイプ 1 ボックスまたは同等品に対応しています。

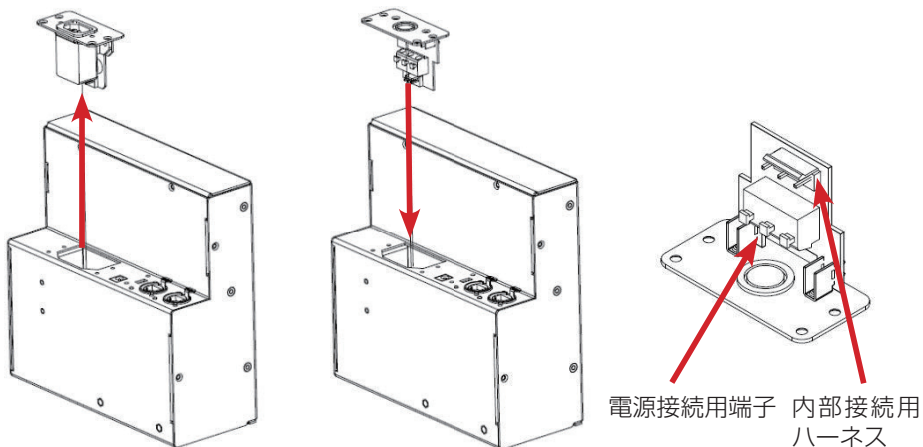
フロアボックス／ステージポケット／ディップトラップへの設置：特性マウントフレームが必要になる場合があります。

グラウンドモジュールによる固定設置

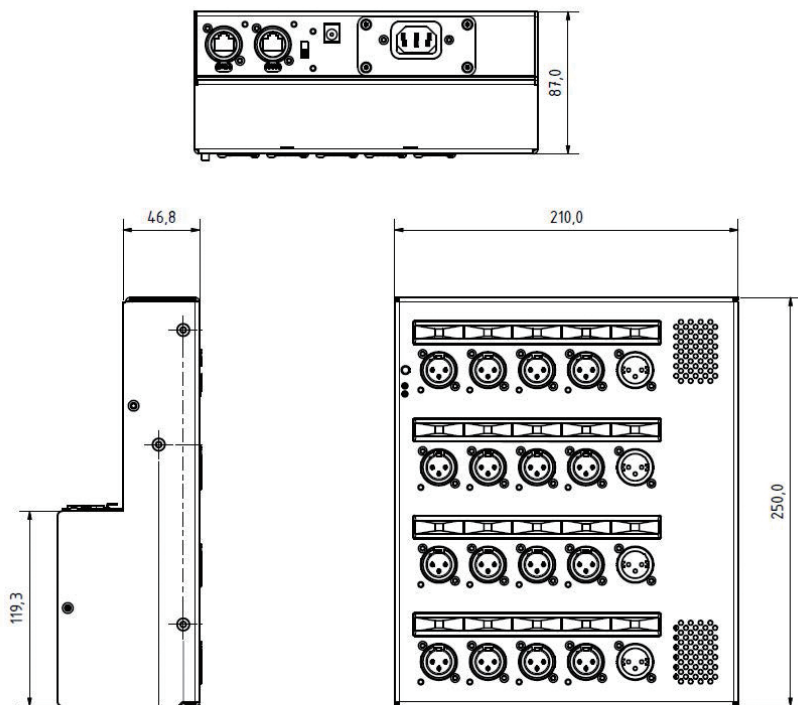
i IEC モジュールの交換および電源の配線は必ず有資格者が行ってください。
(下記手順を参照)

IEC モジュールの交換：

- ・トルクス T8 ドライバーで 4 本のねじを取り外します。
- ・モジュールを引き抜き、底部のハーネスを取り外します。
- ・グラウンドモジュールにケーブルグラウンドを取り付けます。
- ・電源ケーブルをグラウンドに通します。
- ・モジュールに表記された極性およびアースに注意しながら電源ケーブルを端子に配線します。
- ・ハーネスをグラウンドモジュールの底部に接続します。
- ・4 本の T8 ねじでモジュールをユニットに固定します。



寸法



仕様

マイク/ライン入力	バランス XLR、+48 V ファンタム電源
マイク/ラインプリアンプ	全て記憶可能
アナログゲイン	+5 ~ +60 dB、1 dB ステップ
パッド	-20 dB アクティブパッド
最大入力レベル	+30 dBu (パッド In)
入力インピーダンス	>4 k Ω (パッド Out)、>10 k Ω (パッド In)
マイク EIN	-127 dB (150 Ω ソース時)
アナログ XLR 出力	バランス、リレー保護
出力インピーダンス	<75 Ω
公称出力	+4 dBu (= 0 dB メーター示度)
最大出力レベル	+22 dBu
残留出力ノイズ	-93 dBu (22 Hz ~ 22 kHz)
動作温度範囲	0° C ~ 35° C
主電源電圧範囲	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	最大 40 W
DC 入力	12 V、最大 4 A
寸法 (W × D × H)、質量	210 × 87 × 250 mm、3.5 kg



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563

E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <https://www.hibino-intersound.co.jp/>

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。